

(別記様式1)

年 月 日

長期履修申請書

九州工業大学長 殿

学府・研究科

課程

専攻

学生番号

氏 名

下記のとおり、長期履修学生となることを希望しますので、申請します。

記

長期履修期間	年 月 日 ~ 年 月 日 (標準修業年限 年のところ 年での履修を希望)
入学年度	年度 (年 月入学)
申請理由	<u>該当する理由の□に✓を付してください。</u> <input type="checkbox"/> 1. 職業を有し、就業している者 <input type="checkbox"/> 2. 障がいのある者 <input type="checkbox"/> 3. その他、学長が特例と認めるに足る相当の事由がある者) 3を選択した場合の理由 ()
長期履修を希望する理由及び履修計画	
主指導教員氏名	
指導教員の意見	

<作成例>

学生が職業を有していること等により、学修時間の制約を受け、標準修業年限で履修が困難な場合、申請に基づき、博士前期課程にあつては4年以内、博士後期課程にあつては6年以内を限度として、計画的な履修を認めることとなりますので、指導教予定教員と相談のうえ、作成してください。

(別記様式1)

_____年 月 日

長期履修申請書

九州工業大学長 殿

_____ 学府・研究科

_____ 課程

_____ 専攻

_____ 学生番号

_____ 氏 名

下記のとおり、長期履修学生となることを希望しますので、申請します。

記

長期履修期間	_____年 月 日 ~ _____年 月 日 (標準修業年限 年のところ 年での履修を希望)
入学年度	_____年度 (_____年 月入学)
申請理由	<u>該当する理由の口に✓を付してください。</u> <input type="checkbox"/> 1. 職業を有し、就業している者 <input type="checkbox"/> 2. 障がいのある者 <input checked="" type="checkbox"/> 3. その他、学長が特例と認めるに足る相当の事由がある者) 3を選択した場合の理由 (_____)
長期履修を希望する理由及び履修計画	<p><理由についての記載例> 通常の業務との兼ね合いもあり、2(3)年間での単位取得等が困難であることが見込まれるため、本務が多忙であり、調査、研究のとりまとめに時間を要することが見込まれるため等の事情を記入してください。</p> <p><履修計画の記載例> 修了までのおおまかな履修計画を指導教員と相談のうえ、作成してください。</p> <p><マスター> 1年目 教養科目 4単位/専門科目 2単位の履修・修士論文の研究 2~3年目 専門科目10単位の履修・修士論文の研究 3年目 専門科目10単位の履修・修士論文の研究 4年目 専門科目 4単位、修士論文の作成</p> <p><ドクター> 1年目 専門科目 4単位の履修 2年目 論文の投稿 3年目 プロジェ外研究の実施、特別演習の履修 4年目 論文とりまとめ 5年目 学位申請</p> <p>1年目：先行研究の整理・分析 2年目：課題の整理 3年目：考察と仮説の構築、仮説の立証 4年目：論文投稿、学位論文取りまとめ その他、年1報程度学会誌への論文投稿、発表を行い、学位論文のとりまとめを行っていく予定等</p>

主指導教員氏名	
指導教員の意見	<p><記載例> 業務との両立となるため、調査、論文のとりまとめに時間を要する。 理由、履修計画については、本人の勤務の事情を勘案すると、適切であるとする。 通常の指導はメールも利用して行い、また、適宜集中的に指導を行う。 その他、勤務形態等も勘案して、論文指導を継続的に行う等を記入してください。</p>

(別記様式2)

_____年 _____月 _____日

長期履修期間変更申請書

九州工業大学長 殿

_____ 学府・研究科

_____ 課程

_____ 専攻

_____ 学生番号

_____ 氏 名

延 長
下記のとおりに、長期履修期間を _____ したいので、申請します。
短 縮

記

許可済の長期履修期間	_____年 _____月 _____日 ~ _____年 _____月 _____日 (標準修業年限 _____年のところ _____年での履修を許可)
変更後の長期履修期間	_____年 _____月 _____日 ~ _____年 _____月 _____日
入 学 年 度	_____年度 (_____年 _____月入学)
変更理由及び変更後の履修計画	_____

主指導教員氏名	_____
指導教員の意見	_____

